

関西大学 学術講演会

日時：2012年10月15日(月)

第5限(16:20~17:50)

場所：尚文館 マルチメディア大教室

演題：

《歴史とエコロジーからの東京の都市再生》

講師：陣内秀信 (建築史・都市論)

法政大学デザイン工学部教授

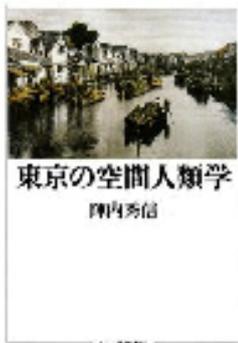
【講演者略歴】

1947年福岡県に生まれる。1973年から1975年にかけてイタリア政府給費留学生としてヴェネツィア建築大学に留学し西洋建築を学ぶ。翌年にはユネスコのローマ・センターに留学した。帰国後、1983年東京大学大学院工学系研究課博士課程修了。その後、東京大学工学部助手、法政大学工学部建築学科助教授を経て、現在は法政大学デザイン工学部建築学科教授。

イタリア建築・都市史を主な研究領域とし、イタリアを中心に、イスラム圏を含む地中海世界の都市研究・調査を行う。また、日本の建築史についても造詣が深く、『東京の空間人類学』でサントリー学芸賞(社会・風俗部門)を受賞。芸術・建築関連の雑誌やテレビなどでの解説も多い。

主な業績：サントリー学芸賞、地中海学会賞、日本建築学会賞受賞、イタリア共和国功労勲章(ウッフィチャーレ章)等受賞、ローマ大学名誉学士号

主な著書：『都市を読む*イタリア』(法政大学出版局)、『水辺から都市を読む』(共編著、法政大学出版局)、『イスラム世界の都市空間』(法政大学出版局)、『東京の空間人類学』(筑摩書房)、『都市と人間』(岩波書店)、『東京』(文芸春秋)、ほか多数



建築史・都市論の分野で現代日本を代表する陣内秀信教授をお迎えして、東京をテーマに都市再生のあるべき姿についてお話いただきます。

「水辺都市の空間構造」をめぐる教授のご研究は、都市計画や建築などの工学的分野から、歴史・地理をはじめとする人文諸分野にわたる幅広い視野から取り組まれています。都市大阪の今後を考える上でも、貴重な示唆を与えていただけることでしょう。

学生から社会人、研究者まで、関心ある方々のご参加をお待ちしています。

問い合わせは、文学部教授 木岡伸夫研究室(内線 5213)
または、環境都市工学部教授 江川直樹研究室(内線 5900)までお願いします。

主催：関西大学文学部・理工学府(理工系3学部)